

坂東PA関連事業に関する整備方針検討委員会

第1回委員会資料

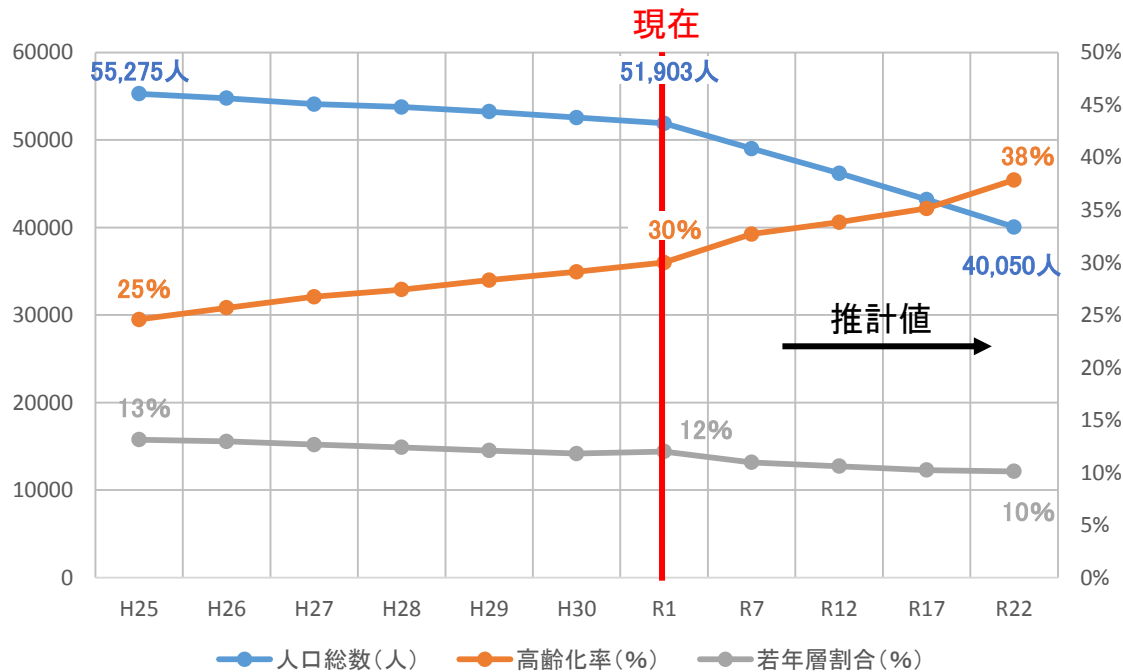
令和元年11月22日

1 計画地周辺状況 及び 課題

- 現状**
- 人口減少の進行。(人口_ H25:約55,000人 ⇒ R1:約52,000人 ⇒ R22:約40,000人)
 - 高齢化の進行。(高齢化率_ H25:約25% ⇒ R1:約30% ⇒ R22:約38%)

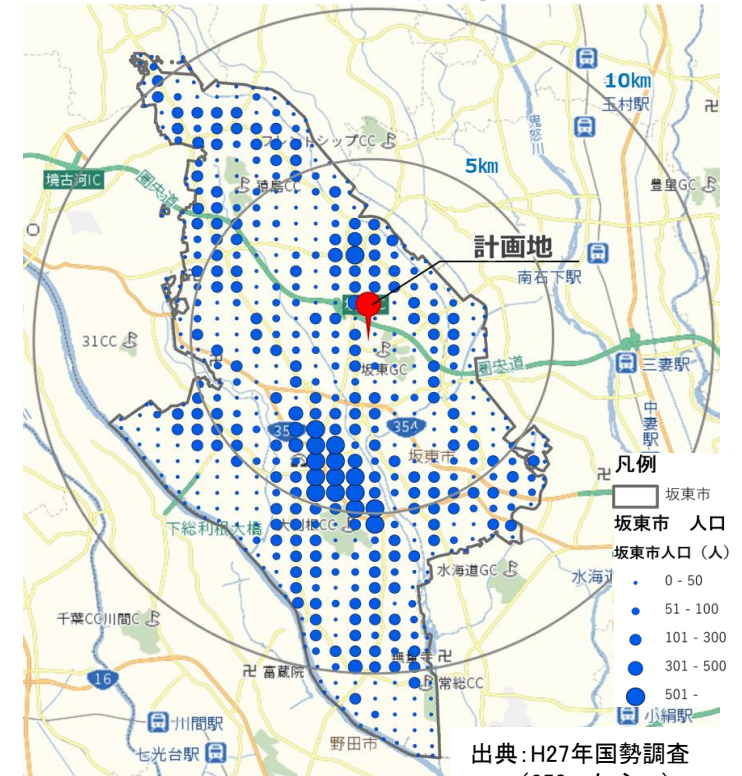
- 課題**
- 人口減少の歯止めへの対策が必要である。
 - 高齢化の進行による交通弱者への対応が必要である。

人口推移



資料: H30統計ばんどう及び国立社会保障・人口問題研究所推計結果より作成

人口分布



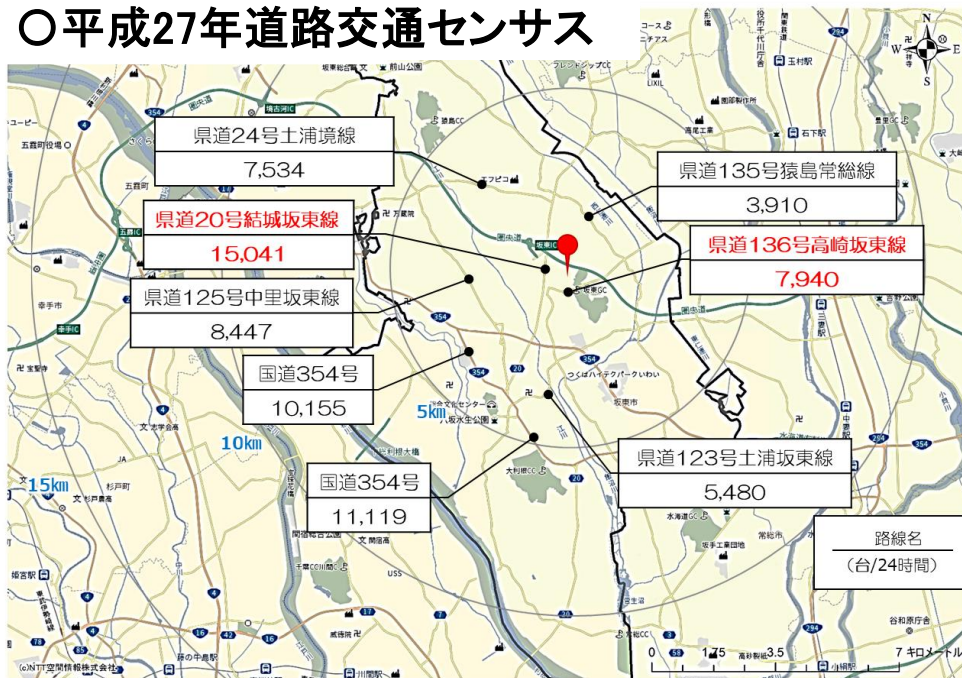
現状

- 本市には鉄道駅がなく、公共交通機関はバス、デマンドタクシーのみとなっている。
- 計画地に近接する結城坂東線及び高崎坂東線は交通量の多い路線となっている。
- 平成29年2月26日に圏央道(境古河IC～つくば中央IC)が開通し、東北自動車道と常磐自動車道が繋がった。
- 現在、圏央道には、菖蒲PAと江戸崎PAの間約76kmにわたり休憩施設が立地していない。

課題

- 公共交通等による市内交通ネットワーク及び広域交通ネットワークの構築が求められる。
- 圏央道は4車線化の整備が進むことにより、交通量の増加が予想され、(仮称)坂東PAの早期の供用が必要とされている。

○平成27年道路交通センサス

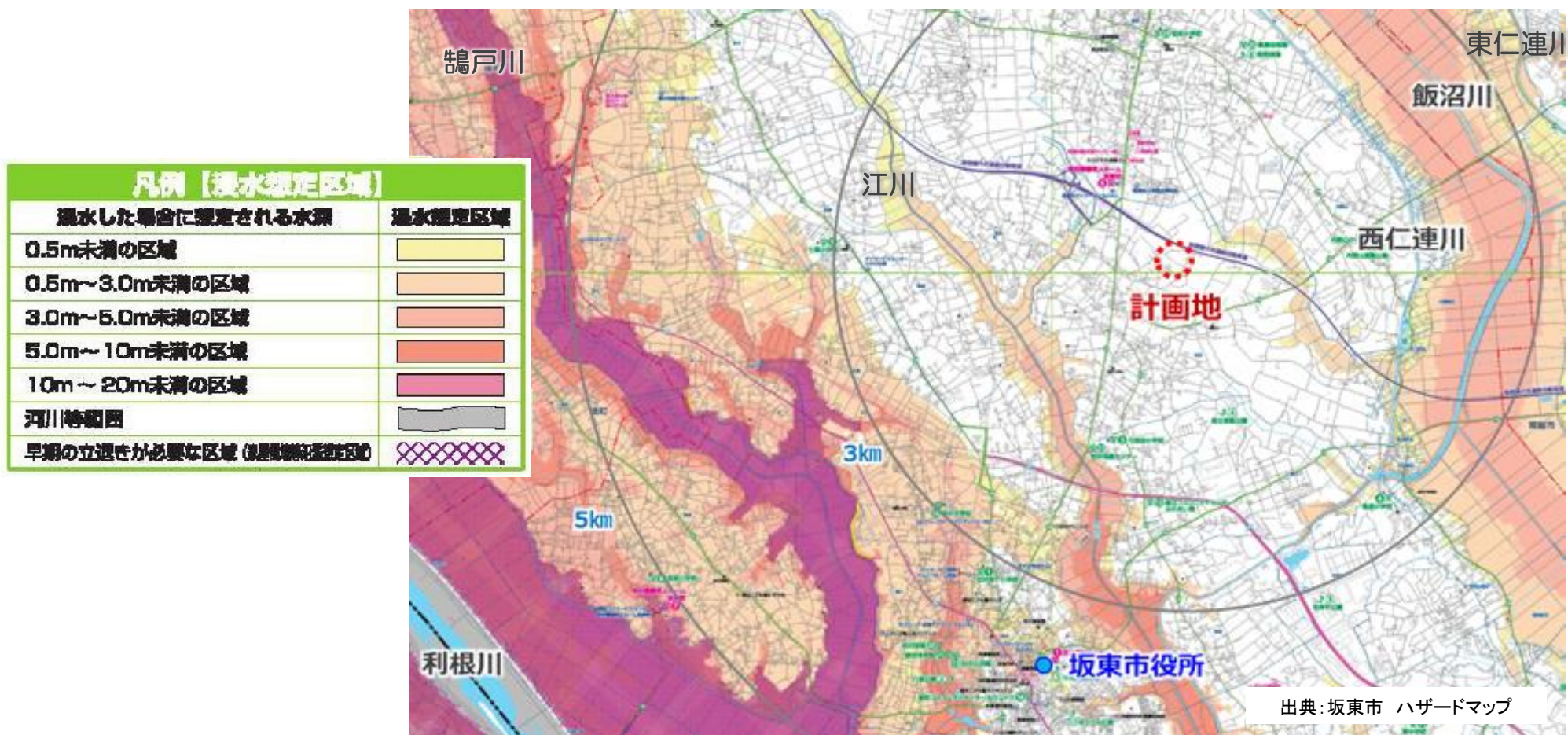


現状

- 利根川をはじめとする河川や水路があり、昔から氾濫により被害を受けてきた。
- 平成27年9月関東・東北豪雨災害など、市内や周辺都市においても大雨による洪水被害が起きており、今後も想定を超えた災害が起こりうると考えられる。
- 市内の大半が浸水想定区域に含まれているが、計画地周辺部は、浸水想定区域には含まれていない。

課題

- 水害、震災等をはじめとした災害への対策が求められる。



- 現状**
- 坂東市には、全国1位の生産量を誇る野菜や、歴史的観光資源が存在している。
 - 坂東ICは、埼玉方面及び千葉方面からの高速道路利用者に対する茨城県の玄関口の一つ。

- 課題**
- 平将門公に関連する歴史的資源をはじめ、複数の観光資源が立地しているが、各資源の連携はあまりみられない。このため、観光ルートの設定・周知など、観光客にアピールしていくことが求められる。
 - 本市は県内有数の農業生産地であるが、県外ではあまり知られておらず、ブランド化や6次産業化が求められる。また、これら資源の情報発信の場が必要である。

○特産品

- ・夏ネギ : 生産量全国1位
- ・春レタス : 生産量全国1位



夏ネギ



春レタス

○観光

- ・ミュージアムパーク
茨城県自然博物館
- ・逆井城跡公園
- ・國王神社
- ・菅生沼



ミュージアムパーク茨城県自然博物館



逆井城跡公園



菅生沼

○歴史・イベント

- ・平将門公の故郷であり、ゆかりの地
- ・平将門公ゆかりの寺院等が市内に点在
- ・「岩井将門まつり」
- ・「いわい将門ハーフ マラソン」



いわい将門ハーフマラソン



岩井将門まつり



平将門公之像



國王神社

2 地域利便施設計画地の状況

PAとの隣接

SA・PAに隣接する施設は、
全国に**24ヶ所**

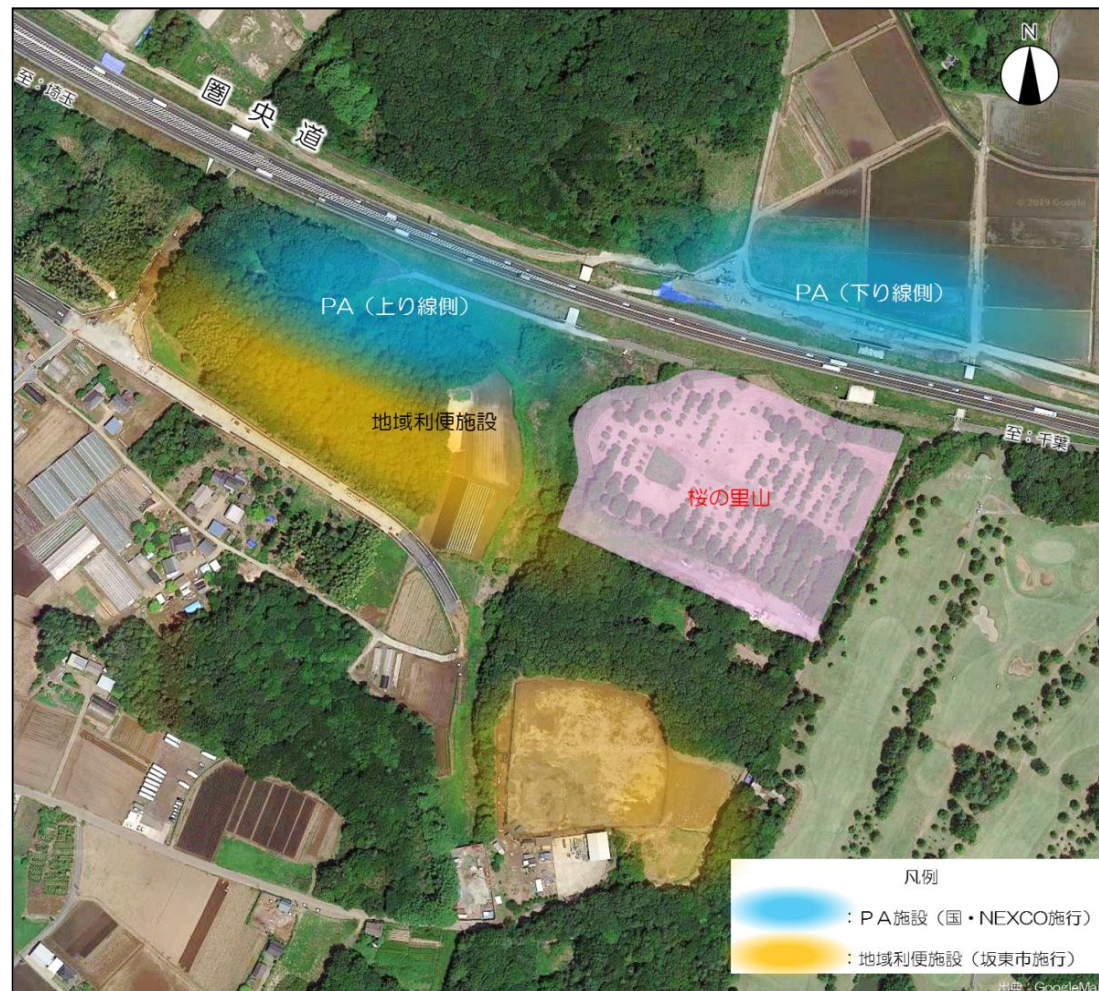
(全国のハイウェイオアシスや道の駅は約1,180か所)

※令和元年10月1日現在

関東圏は特に少なく、
圏央道沿いには存在しない

圏央道の利用者を
呼び込める

- ・圏央道利用者
- ・高速バス利用者
- ・インバウンド(訪日外国人) 等



地域防災拠点

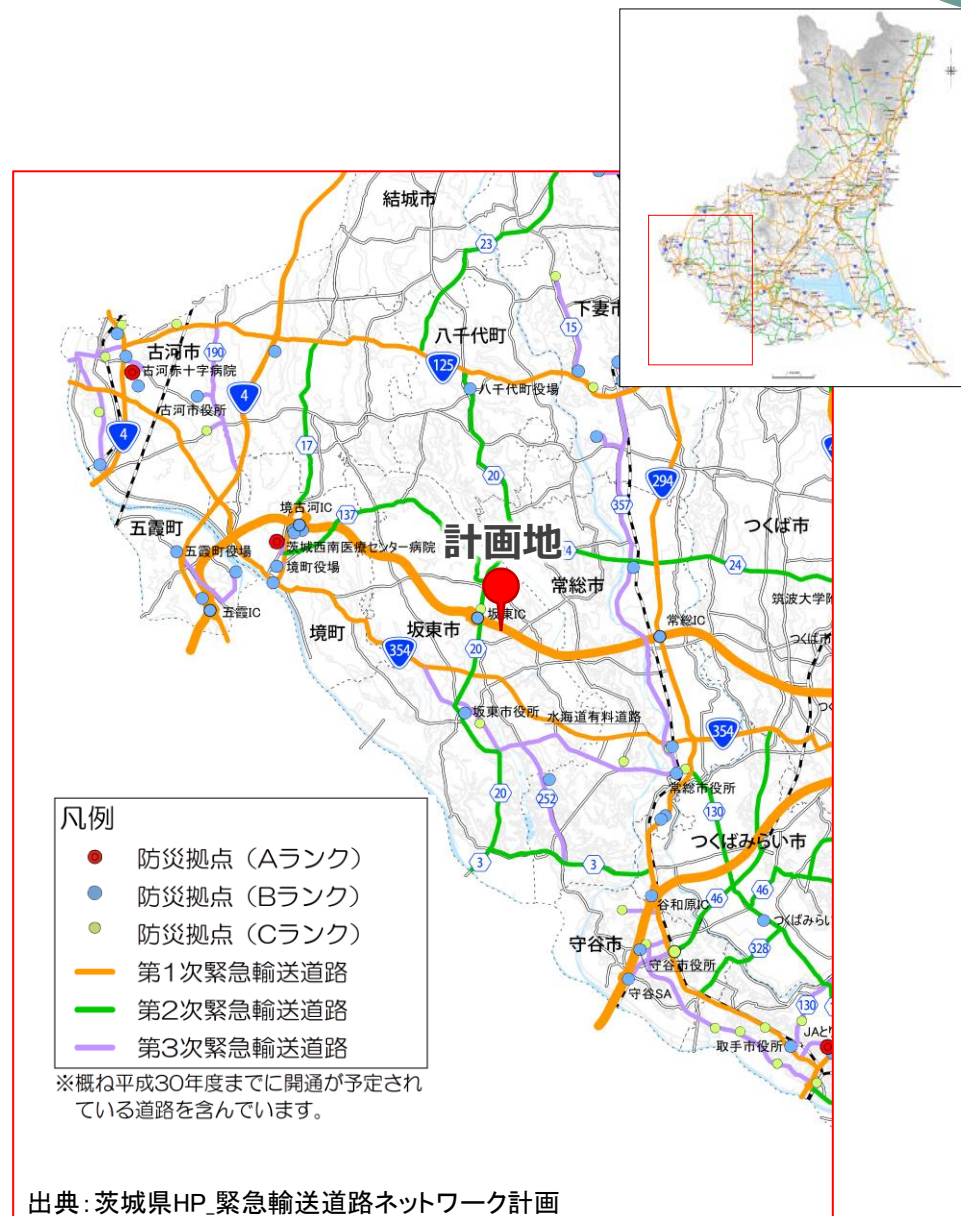
[現況]

- ・浸水想定区域外に位置
- ・敷地面積が約10ha
- ・緊急輸送道路※に隣接
 - ⇒圏央道(第一次緊急輸送道路)
 - ⇒結城坂東線(第二次緊急輸送道路)
- ・周辺に防災拠点(病院以外)に位置付けられた類似施設はない

地域防災拠点として整備

- ・地域利便施設の建物や敷地を活用
- ・地域防災計画に位置付け(今後策定予定)

※緊急輸送道路:災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連結する幹線的な道路。国土交通省が指定。



3 方向性及び機能

<課題>

人口

- ・人口減少、少子高齢化
- ⇒人口減少対策・
交通弱者対策が必要

交通

- ・公共交通網が弱い
- ⇒公共交通ネットワークの
維持・構築が必要

防災

- ・想定を超えた災害の発生
- ⇒災害対策が必要

情報発信・資源の活用

- ・資源を上手くアピール
できていない
- ⇒情報発信が必要



<立地のポテンシャル>

PAとの隣接

地域防災拠点



<整備の方向性>

- ・ 圏央道・PAと隣接

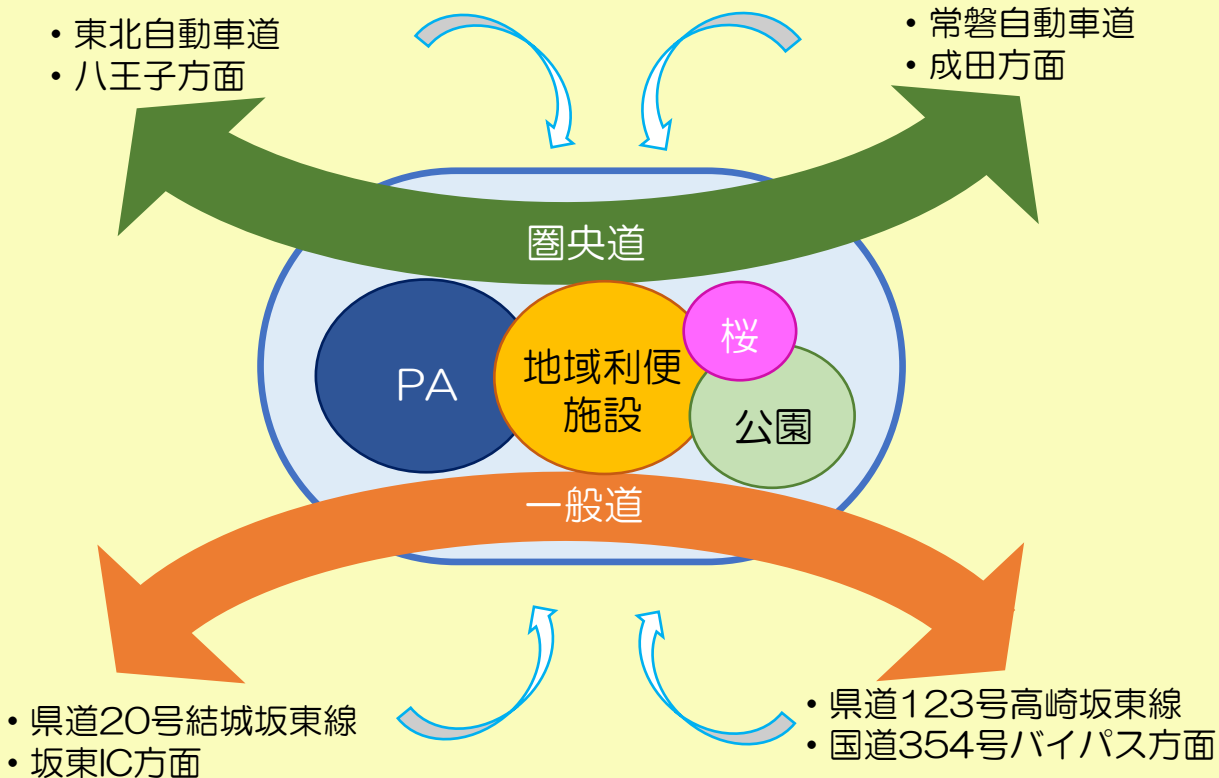
- ・ 一般道から利用可能

- ・ 桜の里山や公園が整備可能な広い用地



市内外から人を呼びこむ、
情報発信・防災・休憩
機能を備えた施設。

広域からの来訪者（市外・県外・国外）

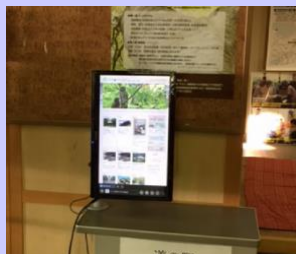


近距離からの来訪者（地域住民、市民）

情報発信機能

- ・ 地域の観光情報
(市内・県内の観光施設等)
- ・ 道路情報
- ・ 緊急医療情報

等



防災機能

- ・ 備蓄倉庫
- ・ ヘリポート
- ・ 災害対応給水施設
- ・ 非常用電源装置
- ・ 駐車場(災害対応)
- ・ 情報提供施設
(大型モニター、掲示板)
- ・ 太陽光発電

等



休憩機能

- ・ 道路利用者の休憩所
- ・ トイレ
- ・ 駐車場
- ・ 子育て応援施設
(ベビーコーナー等)
- ・ キッズコーナー

等



地域連携機能

- ・ 物産館(特産品・名産品)
- ・ 飲食コーナー(郷土料理)
- ・ 公園
(BBQ、キャンプ場、ドッグラン等)
- ・ レクリエーション施設
(アスレチック等)
等



交通結節機能

- ・ バス停留所(路線バス、高速バス)
- ・ 物流拠点

等



PA関連機能

(沿道サービス施設等)

- ・ スマートIC
- ・ 電気自動車充電施設
- ・ コンビニエンスストア
- ・ ガソリンスタンド

等



観光拠点機能

- ・ 観光案内所
- ・ レンタサイクル
- ・ グリーンツーリズム受付
- ・ 体験施設(農園等)
- ・ フォトスポット(恋人の聖地等)

等



その他の機能(他都市事例)

- ・ 6次産業化(地場産品には限らない)
- ・ 屋根のあるフリースペース
- ・ レンタルスペース
- ・ 宿泊施設
- ・ RVパーク

等

